

別紙 1 わいせつ行為等に係る懲戒処分等事案の具体的な状況について

■本調査における「わいせつ行為等」の定義について

- 「わいせつ行為等」とは、わいせつ行為及びセクシュアル・ハラスメントをいう。
- 「わいせつ行為」とは、強姦、強制わいせつ（13歳以上の者への暴行・脅迫によるわいせつ行為および13歳未満の者へのわいせつ行為。）、公然わいせつ、わいせつ物頒布等、買春、痴漢、のぞき、陰部等の露出、青少年保護条例等違反、不適切な裸体・下着姿等の撮影（隠し撮り等を含む。）、わいせつ目的をもって体に触ること等をいう。
- 「セクシュアル・ハラスメント」とは、他の教職員、児童生徒等を不快にさせる性的な言動等をいう。

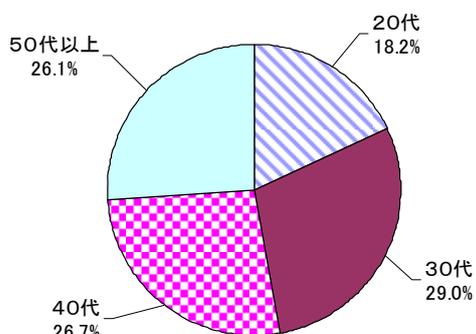
（1）被処分者の性別

被処分者の性別	人数(人)	割合(%)
男性	171	97.2
女性	5	2.8
合計	176	100.0

（2）被処分者の年齢層

被処分者の年齢層が最も多かったのは、「30歳代」であり、全体の29.0%（51人）を占めている。続いて、「40歳代」（26.7%、47人）、「50歳代以上」（26.1%、46人）となっている。

被処分者の年齢



被処分者の年齢層	人数(人)	割合(%)
20歳代	32	18.2
30歳代	51	29.0
40歳代	47	26.7
50歳代以上	46	26.1
合計	176	100.0

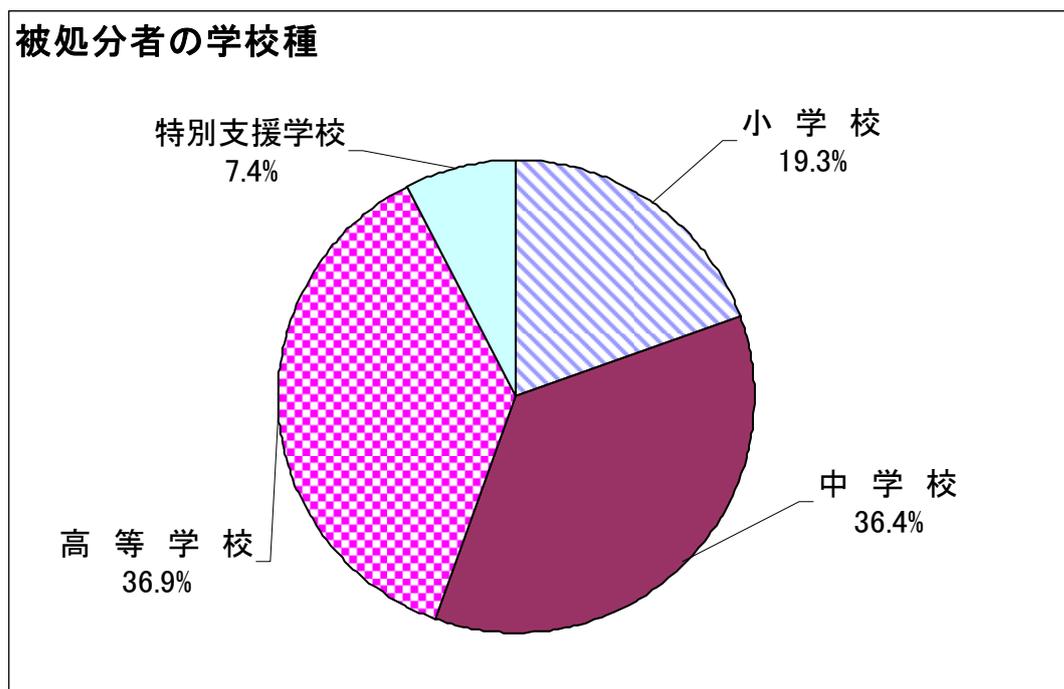
（3）被処分者の過去におけるわいせつ行為等に係る処分歴の有無

被処分者の処分歴	人数(人)	割合(%)
あり	1	0.6
なし	175	99.4
合計	176	100.0

※処分歴とは、過去にわいせつ行為等により「懲戒処分等」を受けた前歴のこと。

(4) 被処分者の所属する学校種

被処分者の所属する学校については、「高等学校」が全体の36.9%(65人)を占めている。続いて、「中学校」(36.4%、64人)、「小学校」(19.3%、34人)となっている。



学校種	人数(人)	割合(%)
小学校	34	19.3
中学校	64	36.4
高等学校	65	36.9
中等教育学校	0	0.0
特別支援学校	13	7.4
合計	176	100.0

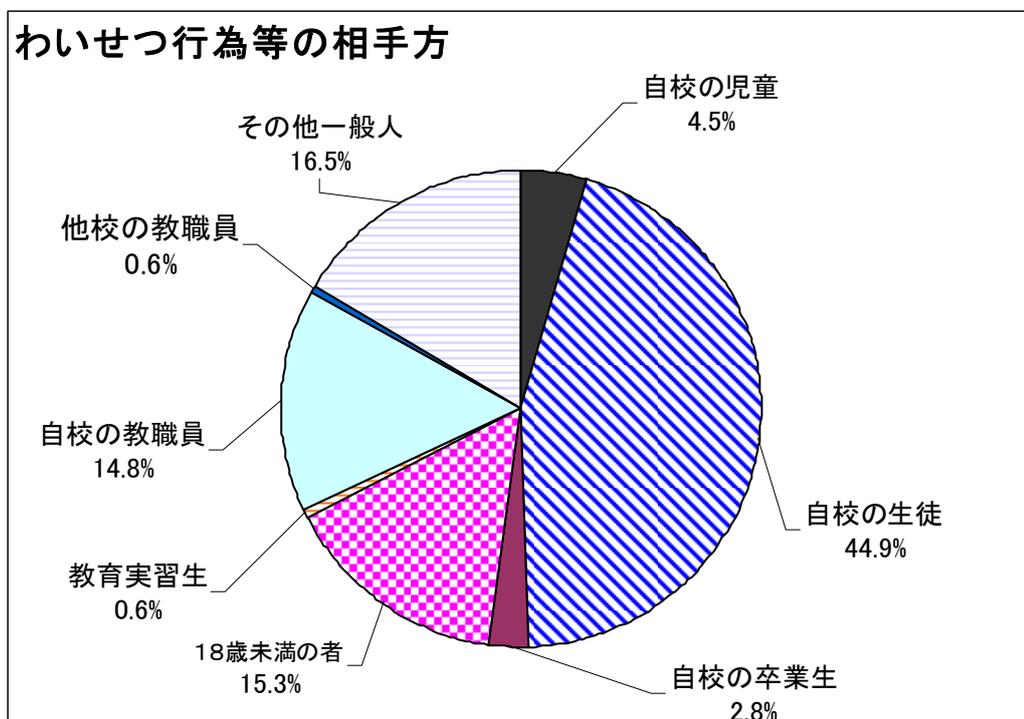
(5) わいせつ行為等の相手の性別

相手の性別	人数(人)	割合(%)
男性	10	5.7
女性	163	92.6
特定の被害者なし	3	1.7
合計	176	100.0

(注)「特定の被害者なし」の態様は、「わいせつビデオ等の販売」が2件、「陰部等の露出」1件である。

(6) わいせつ行為等の相手の属性

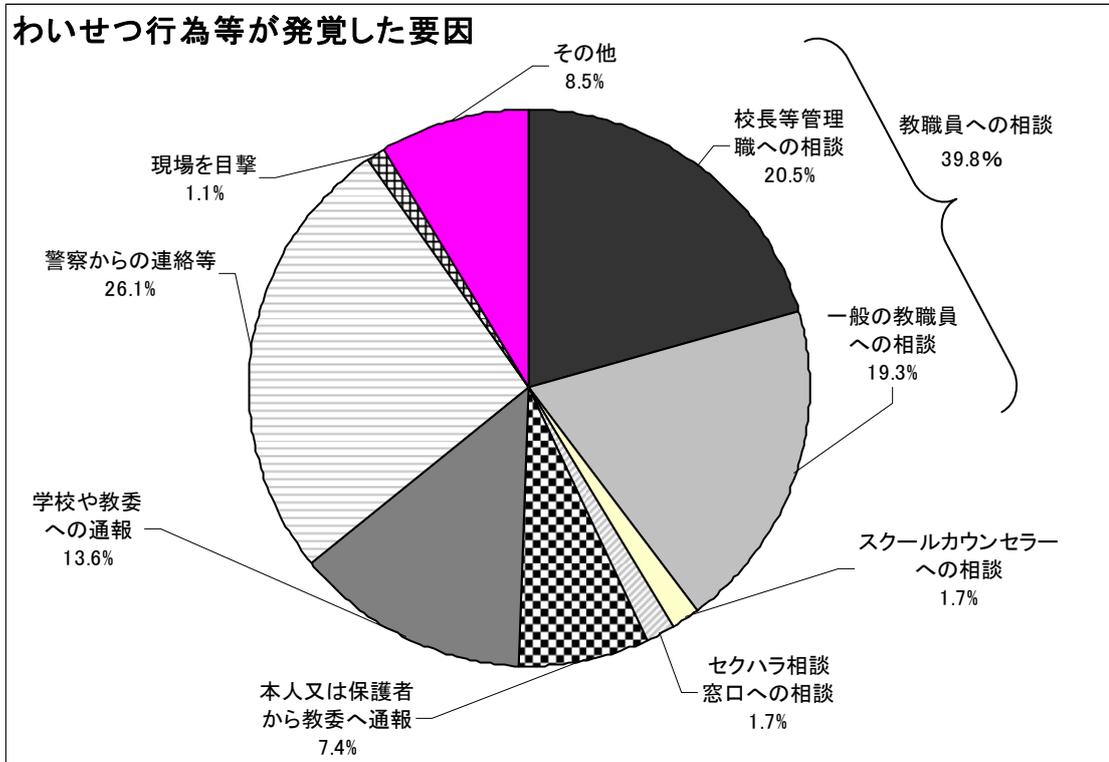
わいせつ行為の相手方の属性として、最も多かったのが「自校の生徒」(44.9%、79人)であり、続いて、「その他一般人」(16.5%、29人)、「18歳未満の者(自校の児童生徒等以外)」(15.3%、27人)となっている。



	相手の属性	人数(人)	割合(%)
児童・生徒等	自校の児童	8	4.5
	自校の生徒	79	44.9
	自校の卒業生	5	2.8
	18歳未満の者	27	15.3
	小計	119	67.5
教職員等	教育実習生	1	0.6
	自校の教職員	26	14.8
	他校の教職員	1	0.6
	小計	28	16.0
	その他一般人	29	16.5
	合計	176	100.0

(7) わいせつ行為等が発覚した要因

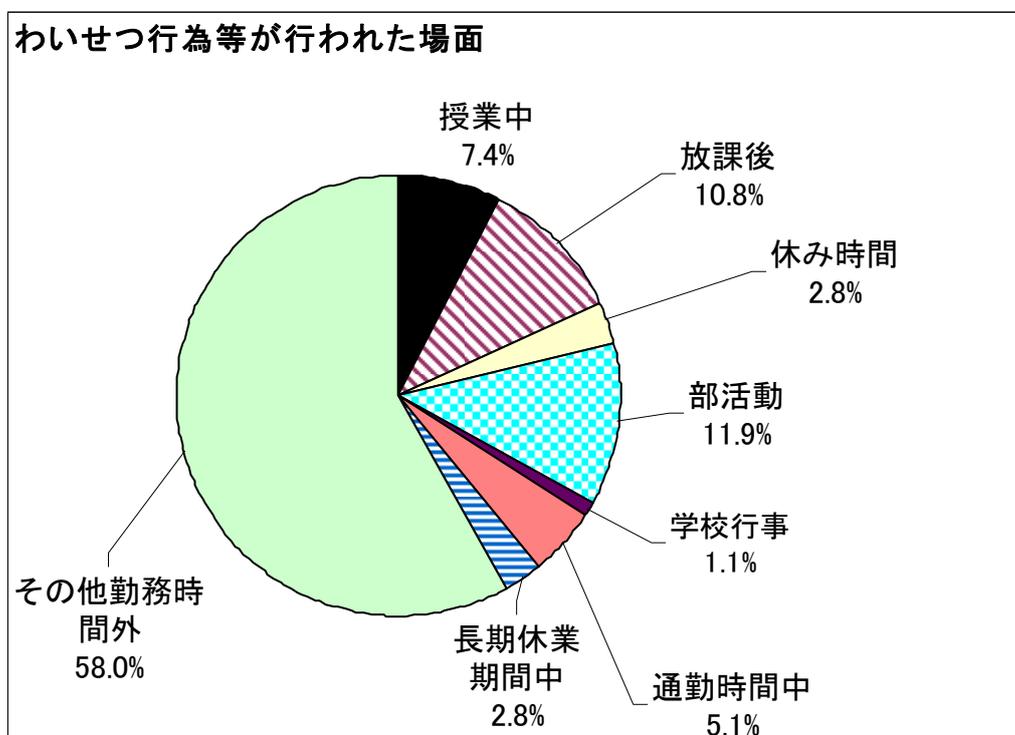
わいせつ行為等が発覚した要因で最も多かったものは「警察からの連絡等（教育関係者を介さず直接）」であり、全体の26.1%（46件）を占めている。続いて、「校長等管理職への相談」（20.5%、36件）となっており、これに「管理職以外の一般の教職員への相談」をあわせた「教職員への相談」は39.8%（70件）である。



わいせつ行為等が発覚した要因		件数(件)	割合(%)
の教職員へ の相談	校長等管理職への相談	36	20.5
	管理職以外の一般の教職員への相談	34	19.3
	スクールカウンセラーへの相談	3	1.7
	セクハラ相談窓口への相談	3	1.7
	本人又は保護者から教委へ通報	13	7.4
	本人又は保護者以外の者から学校や教委への通報	24	13.6
	警察からの連絡等(教育関係者を介さず直接)	46	26.1
	現場を目撃	2	1.1
	その他	15	8.5
合計		176	100.0

(8) わいせつ行為等が行われた場面

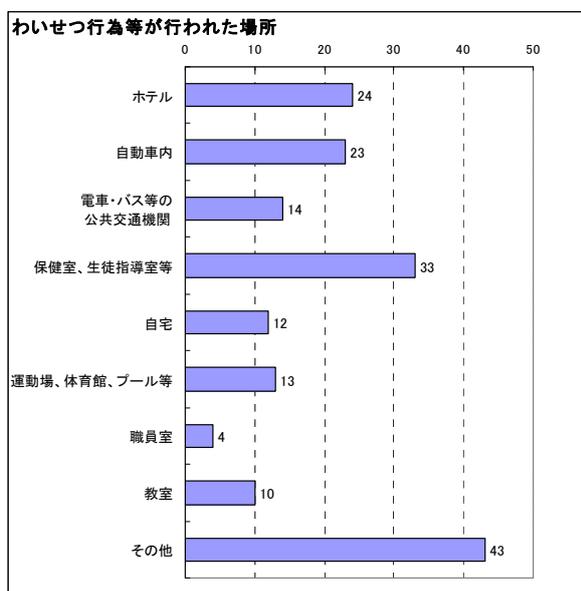
わいせつ行為等が行われた場面で最も多かったのが、「その他勤務時間外」であり、全体の58.0%（102件）を占めている。続いて、「部活動」（11.9%、21件）、「放課後」（10.8%、19件）となっている。



わいせつ行為等が行われた場面	件数(件)	割合 (%)
授業中	13	7.4
放課後	19	10.8
休み時間	5	2.8
部活動	21	11.9
学校行事	2	1.1
通勤時間中	9	5.1
長期休業期間中	5	2.8
その他勤務時間外	102	58.0
合計	176	100.0

(9) わいせつ行為等が行われた場所

「その他」を除き、わいせつ行為等が行われた場所で最も多かったものは「保健室、生徒指導室等」であり、33件となっている。続いて、「ホテル」24件、「自動車内」23件となっている。

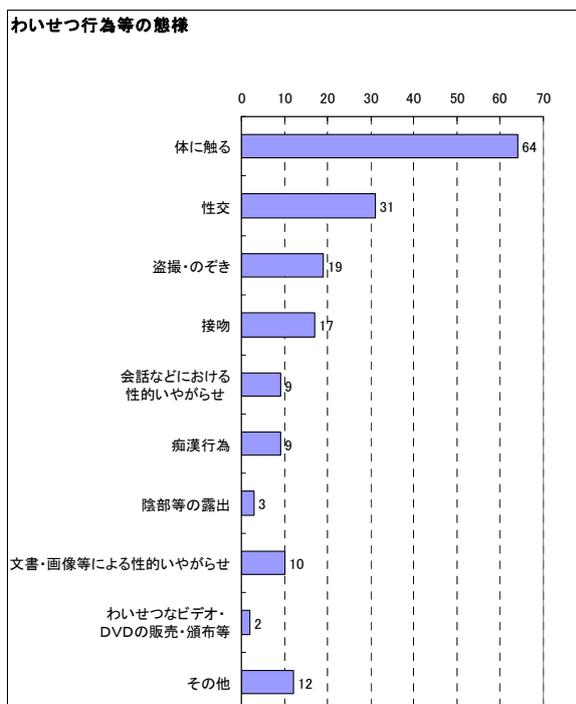


わいせつ行為等が行われた場所	件数(件)
ホテル	24
自動車内	23
電車・バス等の公共交通機関	14
保健室、生徒指導室等	33
自宅	12
運動場、体育館、プール等	13
職員室	4
教室	10
その他	43
合計	176

※該当事項が複数ある場合には、最も当てはまるものひとつを選択回答。

(10) わいせつ行為等の態様

わいせつ行為等の態様で最も多かったものは「体に触る」であり、64件となっている。続いて、「性交」31件、「盗撮・のぞき」19件となっている。



わいせつ行為等の態様	件数(件)
体に触る	64
性交	31
盗撮・のぞき	19
接吻	17
会話などにおける性的いやがらせ	9
痴漢行為	9
陰部等の露出	3
文書・画像等(メール等を含む)による性的いやがらせ	10
わいせつなビデオ・DVDの販売・頒布等	2
その他	12
合計	176

※該当事項が複数ある場合には、最も当てはまるものひとつを選択回答。